

## 新機種導入によるCAD・CAM冠の高精度加工と製作時間の短縮及び経費節減

より高い適合精度の実現と生産性向上、コストダウンを実現させるために、最先端の加工機を導入。CAD・CAM冠（白いかぶせ物）の製作時間の短縮と精度向上を実現させた。

### 取組の背景 歯科技工のデジタル化が急速に進展

近年の医療業界ではさまざまな場面でデジタル化が進んでいる。その波は歯科技工業界にも及び、劇的な技術転換期にある。以前は、虫歯等の保険治療においては手作業による製作以外の選択肢はなかったが、コンポジットレジン製CAD・CAM冠の実用化・保険適用により、保険内の治療でも白い歯を選択する幅が広がった。

こうした背景から、同社では2014年に補助事業にてCAD・CAM冠の加工機を導入した。より高い適合精度と時間短縮を達成できる加工技術の確立が求められていた。



歯科技工の  
高付加価値化を目指して  
先端設備を導入

### ADVICE

しっかりとしたビジョンを持って先進的な取組にチャレンジ!



代表取締役 東村 實

山口県初の導入や最先端の取組は、審査のポイントになります。採択されるためには、しっかりとしたビジョンを持つこと。世の中の動向に関心を持ち、日頃からアンテナを張り巡らせておくことが大事だと思います。これまで何回かものづくり補助金の申請にチャレンジしてきましたが、専門用語を使いすぎて通らなかったこともあるので、わかりやすい文章を作成することが必要です。2022年度から申請方法はインターネットを利用した電子申請となります。情報の打ち込みや必要書類の整理など、慣れていない場合は大変な負担となるので、税理士などの専門家の力をお借りしてはいかがでしょうか。

### 今後の展望

引き続き補助金を活用して新たな設備投資を計画

CAD・CAM冠の保険適用の拡大により、市場規模は従来からの倍の増加を見込んでいます。本事業の取組によって競争優位が確立できれば、一層の収益アップにつながります。引き続き補助金を活用して、金属も樹脂も切削可能な加工機を新たに導入する予定です。近年、歯科技工士学校で定員割れが起こるなど、将来において技工士不足が懸念されています。働きやすい職場づくりを進める上でも、最先端の機器の導入は欠かせません。今後も、日本歯科技工所協会などのセミナーに積極的に参加して、新製品などの情報収集に努め、時代を見据えた安定経営を図りたいと考えています。

## 取組内容

デジタル技工の救世主。県内初となる最新式の加工機を導入

CAD・CAM冠の加工機として、より高い適合精度と生産性の向上、コストダウンを実現するために、県内では初となる最先端の湿式高性能加工機を導入した。

### <現加工機との性能比較>

	現有機	導入機
冷却方式	空冷式	水冷式
一度の取付可能数	6本	20本
製作時間	2,500時間/5,000本	1,666時間/5,000本
切削バーの材質	カーバイトバー	ダイヤモンドバー
切削量	最大2mm	最大3mm
切削バーのランニングコスト	約150万円/5,000本	約40万円/5,000本



今回導入したジーシー社のAadvaハーモニー-WET機



## 取組成果 高い加工精度と製造時間の短縮、コストダウンを実現

CAD・CAM冠の高精度化により装着時の安定感がアップ。製作時間の短縮により、患者の満足度が向上し、ひいては歯科医院の評判が上がり、歯科医院の満足度向上にもつながった。また、従業員の勤務時間短縮、有給休暇の取得など、働き方改革にも寄与できるようになった。現在、弊社が県内でCAD・CAM冠を扱っている歯科医院

はおおよそ120件。弊社への製作依頼は、1歯科医院あたり年間平均約50本から80本に増え、結果として売上アップにつながった。利益の増加により、経営の安定化、継続的な設備投資、新規雇用、従業員への給料引き上げも可能となった。

## 有限会社 UBEデンタル・ラボ

〒759-0209 山口県宇部市厚南北5-2-9  
TEL 0836-41-5865/FAX 0836-43-1506  
<https://ube-dental-labo.com>  
業種 歯科技工業  
資本金 1,000万円  
従業員数 48名(令和4年12月)  
1974年創業  
代表取締役 東村 實



「歯科医療を通じて人と社会に役立つこと」をコンセプトに掲げる歯科技工所。創業当初より、金属の表面に陶材を焼付けた白い金属焼付ポーセレン、インプラント、チタン製義歯など、多岐にわたる歯科技工物を製作してきた。とりわけ高度な技術を要するチタン製かぶせ物は、同社の得意分野である。